

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月9日

上場会社名 沢井製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4555 URL <http://www.sawai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 澤井 光郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート部門担当

(氏名) 尾鼻 康弘

TEL 06-6105-5711

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	38,036	13.8	6,878	77.7	6,793	79.3	4,007	91.5
21年3月期第3四半期	33,419	—	3,869	—	3,789	—	2,092	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	255.24	254.97
21年3月期第3四半期	133.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	78,462	45,198	55.1	2,753.51
21年3月期	72,319	41,705	55.4	2,551.06

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 43,233百万円 21年3月期 40,055百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	30.00	—	25.00	55.00
22年3月期	—	30.00	—		
22年3月期 (予想)				25.00	55.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	49,000	10.6	6,800	45.7	6,700	49.6	3,800	55.8	242.02

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	15,702,000株	21年3月期	15,702,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	662株	21年3月期	549株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	15,701,370株	21年3月期第3四半期	15,701,641株

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、失業率が高止まるなど雇用情勢は依然として厳しい状況が続いておりますが、政府の景気対策効果、世界景気の回復傾向による輸出の持ち直しや在庫調整の進展などにより、大企業、製造業を中心に緩やかに企業業績が立ち直りつつあります。

医療用医薬品業界におきましては、平成20年4月より実施されているジェネリック医薬品使用促進策、急性期入院の診断群別包括支払制（DPC）対象病院のさらなる増加などに加え、健康保険組合による薬剤費削減に向けたジェネリック医薬品使用促進などにより、緩やかながらジェネリック医薬品の市場が拡大しております。

このような環境下、当社グループは、本年度より中期経営計画「M1 TRUST」をスタートさせ、平成21年5月の20成分34品目に続き、11月には20成分29品目、計40成分63品目の新製品を発売いたしました。またDPC対象病院をターゲットとした病院課による営業活動強化、保険薬局へのきめ細かな営業活動に注力するなど、「選ばれる」サワイブランド構築に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高が38,036百万円（前年同期比13.8%増加）となりました。利益面では、売上高増加に加え、売上原価率が改善したことや、販売費及び一般管理費の増加が小幅に止まったこと等により、営業利益は6,878百万円（前年同期比77.7%増）、経常利益は6,793百万円（前年同期比79.3%増）、四半期純利益は4,007百万円（前年同期比91.5%増）と、大幅な増益となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

① 財政状態の変動状況

総資産は前連結会計年度末（平成21年3月末）対比6,142百万円増加し、78,462百万円となりました。これは現金及び預金が965百万円減少した一方、受取手形及び売掛金が4,014百万円、たな卸資産が3,093百万円増加したことが主な要因であります。

負債は前連結会計年度末（平成21年3月末）対比2,649百万円増加し、33,263百万円となりました。支払手形及び買掛金が3,731百万円、短期借入金が547百万円、長期借入金が359百万円増加し、未払金が1,969百万円減少したことが主な要因であります。

純資産については、前連結会計年度末（平成21年3月末）対比3,492百万円増加し、45,198百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比0.3%低下し55.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は5,583百万円となり、当第2四半期連結会計期間末比1,817百万円減少しました。当第3四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益3,307百万円、減価償却費759百万円、賞与引当金の減少524百万円、売上債権の増加3,164百万円、たな卸資産の増加1,264百万円、仕入債務の増加1,260百万円を主因として75百万円の支出（前年同四半期比751百万円減）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出697百万円を主因として719百万円の支出（前年同四半期比422百万円増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出547百万円、配当金の支払額471百万円を主因として1,021百万円の支出（前年同四半期比2,202百万円増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

ジェネリック医薬品市場の拡大にあわせて、市場開拓に注力し売上高の拡大に取り組む一方で、安定供給に向けた生産増強、原価低減、効率的な経費運用に努めてまいります。

なお、平成22年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成21年10月30日に公表いたしました予想を据え置いております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

当第3四半期連結会計期間末におけるたな卸資産のたな卸高は、貯蔵品を除き実地たな卸を実施せず、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,583	6,548
受取手形及び売掛金	21,304	17,289
商品及び製品	8,453	6,704
仕掛品	3,648	3,032
原材料及び貯蔵品	4,579	3,851
繰延税金資産	1,350	1,321
その他	172	231
貸倒引当金	△9	△25
流動資産合計	45,082	38,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,252	18,584
機械装置及び運搬具（純額）	6,588	6,943
土地	5,139	5,139
リース資産（純額）	21	26
建設仮勘定	542	31
その他（純額）	1,383	1,096
有形固定資産合計	31,927	31,821
無形固定資産	523	598
投資その他の資産		
投資有価証券	603	544
長期貸付金	65	98
長期前払費用	53	70
繰延税金資産	—	31
その他	245	228
貸倒引当金	△40	△28
投資その他の資産合計	928	945
固定資産合計	33,379	33,366
資産合計	78,462	72,319

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,259	6,527
短期借入金	5,627	5,080
リース債務	11	10
未払金	4,106	6,075
未払法人税等	1,591	1,587
賞与引当金	352	871
役員賞与引当金	40	47
返品調整引当金	122	128
売上割戻引当金	574	344
その他	458	236
流動負債合計	23,146	20,910
固定負債		
長期借入金	8,830	8,471
リース債務	13	20
退職給付引当金	103	116
役員退職慰労引当金	254	206
繰延税金負債	141	138
負ののれん	29	38
その他	743	711
固定負債合計	10,117	9,703
負債合計	33,263	30,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,501	11,501
資本剰余金	11,825	11,825
利益剰余金	19,788	16,644
自己株式	△3	△2
株主資本合計	43,112	39,968
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	121	86
評価・換算差額等合計	121	86
新株予約権	173	82
少数株主持分	1,791	1,567
純資産合計	45,198	41,705
負債純資産合計	78,462	72,319

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	33,419	38,036
売上原価	18,758	19,875
売上総利益	14,661	18,161
販売費及び一般管理費	10,791	11,282
営業利益	3,869	6,878
営業外収益		
受取利息及び配当金	15	12
受取補償金	21	43
その他	62	52
営業外収益合計	99	108
営業外費用		
支払利息	126	159
その他	53	34
営業外費用合計	179	194
経常利益	3,789	6,793
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
投資有価証券評価損	71	—
固定資産除却損	30	33
その他	3	—
特別損失合計	105	33
税金等調整前四半期純利益	3,684	6,759
法人税、住民税及び事業税	1,753	2,543
法人税等調整額	△359	△18
法人税等合計	1,393	2,525
少数株主利益	198	226
四半期純利益	2,092	4,007

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,684	6,759
減価償却費	1,984	2,256
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,648	△4,014
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△757	△3,093
仕入債務の増減額 (△は減少)	320	3,684
未払金の増減額 (△は減少)	△477	359
その他	640	300
小計	1,746	6,253
利息及び配当金の受取額	15	12
利息の支払額	△116	△156
法人税等の支払額	△1,449	△2,542
営業活動によるキャッシュ・フロー	195	3,567
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,053	△4,465
無形固定資産の取得による支出	△82	△131
長期貸付けによる支出	△70	—
長期貸付金の回収による収入	176	33
投資有価証券の取得による支出	△50	—
その他	4	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,074	△4,566
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,000	370
長期借入れによる収入	50	2,500
長期借入金の返済による支出	△1,452	△1,963
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△863	△863
少数株主への配当金の支払額	△17	—
その他	—	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	715	33
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,163	△965
現金及び現金同等物の期首残高	5,388	6,548
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,225	5,583

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

当社及び連結子会社の事業区分は、製品の種類、性質、製造方法及び市場等の類似性を考慮した結果、医療用医薬品の製造及び販売を中心とする「製薬事業」に属しているため、事業の種類別セグメント情報の記載をしておりません。

② 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

在外連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

③ 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。